

地域医療連携だより

Vol.195
R1.8

長浜赤十字病院 地域医療連携課
〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7
TEL 0749-68-3314
FAX 0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター
地域周産期母子医療センター
地域災害医療センター
滋賀県地域がん診療連携支援病院
基幹原子力災害拠点病院



残暑の候、貴院におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

栄養指導のご紹介

栄養課では、患者さんの病状に応じた食事を考え、適切に提供し、病態改善や予防を目指しています。

治療の一環として、おもに糖尿病や心疾患、脂質異常症などの生活習慣病に対し、医師の指示のもと栄養指導を行っています。食事療法はどのような場合においても基本となります。しかし、今まで培ってきた食生活や生活習慣を改善することは、なかなか容易ではありません。

管理栄養士は、患者さんご本人だけでなく、食事を作っておられるご家族にもよく話を聞き、現在の状況や悩みを把握し、食事療法がスムーズに行えるよう改善策を一緒に考えています。一回限りでなく何度か栄養指導に来て頂き、食事療法が継続できるようサポートしています。

また、糖尿病療養指導士の資格をもった管理栄養士が医師・看護師とともに「糖尿病透析予防指導」を行っています。メディアや書籍等で様々な情報を簡単に入手できますが、なかには間違っていて理解されていることもあり、情報を整理しながら透析導入を減らせるよう力を注いでいます。

その他、がん病態栄養専門管理栄養士、病態栄養専門管理栄養士、NST(栄養サポート)専門療法士などの資格を有する管理栄養士がいますので、食事に悩みをもっておられる患者さんが食事療法に苦痛を感じず、制限のあるなかでも美味しく食べられるよう、疾病に合わせ各専門の管理栄養士が指導をしています。

開業医さんにかかれていて食事療法が必要とされる患者さんがおられましたら、地域医療連携課を通じて栄養指導を予約していただくことが出来ますので、是非ご利用ください。



第13回地域医療意見交換会 開催のお知らせ

今年も下記の日程で意見交換会を予定しております。湖北・湖東の先生方には後日ご案内させていただきますので、ご予約いただきますようお願いいたします。

日 時：10月12日(土) 午後4時～午後8時
場 所：北びわこホテルグロッツェ
第1部：講演会 第2部：意見交換会(懇親会)



新任医師のお知らせ

- ・耳鼻いんこう科 菊岡 弘高 先生
(キクオカ ヒロタカ)
8/1(木)より診察開始
耳鼻いんこう科について、手術の必要な疾病もご予約をお受けいたします
- ・消化器内科 大崎 理英 先生
(オオサキ リエ)
8/6(火)より診察開始
よろしくお願いいたします



退職医師のお知らせ

耳鼻いんこう科 加藤 智久 先生

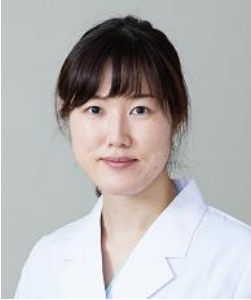
🌸お世話になりました🌸

◆◆ 新任医師よりご挨拶 ◆◆



整形外科 久保田 宏和

本年度6月より整形外科医として長浜赤十字病院で勤務させて頂くことになりました。福井大学を卒業し初期研修後、滋賀医大整形外科に入局し医師4年目となります。長浜赤十字病院は祖父母が大変お世話になったこともあり、ご縁のある湖北地域の医療に少しでも貢献できるよう研鑽を積んで参りたいと考えております。経験不足でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



小児科 榎本 早也香

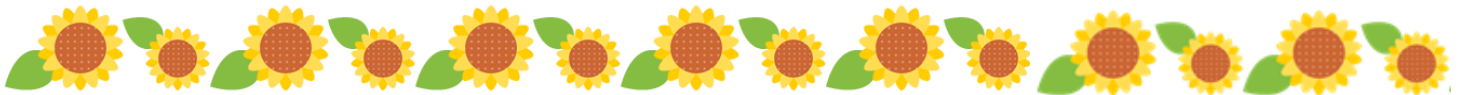
平成28年に鳥取大学を卒業後、滋賀医科大学医学部附属病院で初期研修、後期研修を行い、びわこ学園センター草津を経て、現在は医師4年目になります。小児科医としてまだキャリアは短いですが、周囲に助けをもらいながら、日々の診療を行っています。軽症から重症まで幅広い症例を扱っているため、この経験を糧にして湖北の医療に少しでも貢献できるよう努めて参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお申し上げます。



精神神経科 山本 佳樹

7月から長浜赤十字病院で精神科医師として勤務しております、山本佳樹と申します。医師としては4年目で、以前は滋賀医科大学にて勤務しておりました。新しい環境になり、病院の構造やルールなどわからないことばかりですが、早く慣れようと思います。

長浜赤十字病院は湖北の多くの患者さんの健康を支える病院として大きな責任があると考え、私も患者さんに寄り添いながら健康と笑顔を支える事ができるように頑張ろうと思います。ご指導ご鞭撻の程よろしくお申し上げます。



◆◆ 委員会開催報告 ◆◆

第19回開放型病床運営委員会

(6月13日開催)

医師会・歯科医師会の委員の皆様にご出席いただき、開放型病床の運営等について討議していただきました。

昨年度の実績報告をさせていただいた後、ご意見をいただきました。開放型病床の利用は全国的に減少していますが、今後も連携の基礎として運用してまいります。

また今年度はレスパイト入院時の病棟についてや、当院の処方せんが10月から一般名表記になることなどが話題に上りました。当院ではレスパイト入院も医療ケアが行き届くよう地域包括ケア病棟（看護配置13対1）ではなく一般病棟（7対1）でお受けしています。また処方せんの一般名表記につきましても、患者さんにわかりやすいよう同効同種の先発品・後発品が複数あることを周知していきたいと思っております。

今後も当院の運営にご協力お願い申し上げます。

第11回地域医療支援事業運営委員会

(7月17日開催)

医師会・歯科医師会・薬剤師会・湖北健康福祉事務所・看護協会・しょうがい者支援事業所・介護サービス事業所・長浜市・米原市の委員の皆様にご出席いただき、地域医療支援病院の運営について討議していただきました。また、昨年に引き続き警察署・消防署にもオブザーバーとしてご出席いただきました。

昨年度の実績報告をさせていただいた後、ご意見をいただきました。救急の適正利用、オーラルフレイル対策、重症心身障害児（者）や虐待など小児への対応、外部参加可能な研修会や講習会の開催など、各機関の連携の必要性を改めて確認しました。当院としてもさまざまな機関・地域の方に向けた研修・講習を行うことで、周知や地域貢献に努めたいと考えます。

今後も当院の運営にご協力お願い申し上げます。

診療所・クリニックをご紹介、お世話になっています～総合案内から～

当院へは予め診察予約をいただいている患者さん以外に、多くの「初めて受診するのですが」と来院される患者さんがおられます。もちろん、重篤な病状で来院された方は救命センター等診療科に繋いで受診していただきます。一方、「発熱のみ」「咳、痰、鼻水」といった症状で気軽に受診できると思って来院される方も引きをきりません。

来院されても専門診療科各科は予約診療のため多くの場合当日受付ができず、他医療機関をご紹介させていただくことになります。

また、昨年来初診時選定療養費が患者負担になりましたので、お話しすると、どこか診て貰える診療所はないかとお尋ねになります。

その際、患者さんのかかりつけ医あるいはご近所の診療所・クリニックをご紹介させて頂いています。湖北医師会の先生方のご協力で作成しました連携医療機関のチラシをお渡ししながらご案内しています。

なかには、どの診療科が適切かよくわからない症状で来院される方もおられ非常に困り、「ひとまずスクリーニングしていただけるとありがたいな」と心中申し訳ない気持ちでご紹介させていただくこともあります。

日頃は診療科より逆紹介させていただきお世話になっておりますが、日々、総合案内からも先生方にお世話になります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



◆◆活動報告◆◆

● 湖北地域小児リハビリテーション研修会（第3回） （6月15日開催）

久保田脳神経外科クリニック・東海学院大学心理学科非常勤講師の柳原由起氏に「言語機能の発達」「嚥下機能の発達」について、米原市地域包括医療福祉センターふくしあの中瀬弘士氏に「視知覚の発達」について講義していただきました。3つのテーマについてどれも基礎的な事を丁寧に説明して下さり、臨床と結びつく内容でした。受講生のアンケートからも

- ・言語の発達段階と表出に必要な土台・基礎を分かりやすく教えて頂けて良かった。
 - ・小児での言語の役割等を理解でき、関わり方も考えられる内容でした。
 - ・勉強する機会や聞く機会がなかったので、とても興味深かった。言語の表出や理解の部分にも注目しながらリハビリすることも大事だと改めて思った。
 - ・本で勉強するだけの分野だったので、実際にSTさんの話が聞けて、より具体的な内容として理解できました。
- 等の感想をいただきました。

小児リハビリテーション研修会はシリーズ開催をしております。今後も毎月開催を企画しておりますので、興味のあるテーマがあれば是非ご参加ください。

● 湖北地域小児リハビリテーション研修会（第4回） （6月19日開催）

理学療法士 前田 英功
米原市地域包括医療福祉センターふくしあの中瀬弘士氏に「遊びの発達」について講義していただきました。講義では実際の訓練場面を動画で拝見することができ、子どもの遊びの重要性・必要性・発達に応じた遊びの変化などを具体的にイメージしながら学ぶことができました。小児リハビリテーションに関する研修は数が少なく、なかなか小児について知る機会が少ないですが、今回当院でこのようなシリーズ研修が開催されていることは非常に嬉しく思っており、自分自身も可能な限り参加したいと思っています。関係者の皆様におかれましても、是非ご参加お待ちしております。



★ 湖北がんフォーラム2019

(7月7日開催)

長浜文化芸術会館において当院共催で開催され、地域の医療福祉関係者、患者さん、ご家族などたくさんの方にお越しいただきました。

第1部では、「がんと共に生きることへの支援」について京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 緩和ケア・老年看護学分野教授の田村恵子先生にご講演いただきました。わが国のがん医療対策と現状、がんと共に生きること、コミュニティにおけるがんとの共生という3つの視点からお話しされ、がんと共に生きることへの支援で大切なこと、今後重要になってくることについて知ることができました。

第2部のパネルディスカッションでは、「がんと共に自分らしく生きるために」をテーマにがんサバイバー、医師、薬剤師、社会福祉士それぞれの立場からお話しされ、活発な意見交換が行われました。

がんは今や2人に1人が罹患する身近な病気です。今回のがんフォーラムは、がんの人もそうでない人も「がんと共に自分らしく生きること」についてじっくり考える貴重な時間となりました。



◆◆ 研修会等開催のご案内 ◆◆

★ 第28回湖北緩和ケア・在宅医療研究会

※日本医師会生涯教育単位 CC:10-0.5単位・80-0.5単位・81-0.5単位

※日本薬剤師研修センター認定研修制度 集合研修単位 1単位

(受付時に薬剤師免許番号が必要となります)

日 時：8月8日(木) 19時15分～20時45分

場 所：2号館5階 大会議室

内 容：①講演1「看取りに向けた在宅ケアチーム間の連携」

講師 長浜赤十字訪問看護ステーション所長

緩和ケア認定看護師 垣見 留美子 師長

②講演2「チーム医療～長浜赤十字病院 緩和ケアチームの場合～」

講師 長浜赤十字病院 医療技術部長・第一外科副部長 中村 一郎 先生

③ディスカッション「施設内、地域におけるチーム医療について」

<総合司会>市立長浜病院 放射線治療センター長 伏木 雅人 先生

共 催：湖北緩和ケア・在宅医療研究会 湖北薬剤師会

後 援：湖北医師会



★ 第7回湖北地域小児リハビリテーション研修会

日 時：8月28日(水) 18時～19時

場 所：2号館5階 大会議室

テーマ：小児の訪問リハビリテーションについて

講 師：長浜赤十字訪問看護ステーション

川崎 孝子 氏 (理学療法士)

対 象：リハビリテーション専門職および

関心のある医療職の方

※各回のみ参加もお待ちしております。



★ 消化器カンファレンス

※日本医師会生涯教育 CC:15-1.5単位

日 時：9月5日(木) 18時30分～

場 所：2号館5階 大会議室南

★ 第8回湖北地域小児リハビリテーション研修会

日 時：9月28日(土) 13時30分～15時30分

場 所：2号館2階 理学療法室

テーマ：座位保持装置などの福祉用具について

講 師：株式会社 松永製作所

寺倉 宏行 氏

テクノグリーン販売株式会社

佐藤 尚樹 氏

対 象：リハビリテーション専門職および

関心のある医療職の方

※各回のみ参加もお待ちしております。

★ 第4回がん診療支援室・地域医療連携研修会(合同)

※日本医師会生涯教育単位 CC:21-0.5単位

日 時：9月12日(木) 18時～19時45分

場 所：2号館5階 大会議室

内 容：第一部 講演 「その人らしさを尊重するアドバンス・ケア・プランニング(ACP)」

講師 佐久総合病院 診療部長・地域ケア科医長・内科医長・国際保健医療科医長

北澤 彰浩 先生

第二部 グループワーク 「ACPについて考えよう。」

対 象：がん患者さんに関わる医療・介護職の方